【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成19年4月19日(2007.4.19)

【公開番号】特開2005-253875(P2005-253875A)
【公開日】平成17年9月22日(2005.9.22)
【年通号数】公開・登録公報2005-037
【出願番号】特願2004-73061(P2004-73061)
【国際特許分類】
Ａ６３Ｆ　7/02　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６３Ｆ　7/02　３２６Ｄ

【手続補正書】
【提出日】平成19年3月1日(2007.3.1)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
遊技領域を有する遊技機本体の前面側において開閉可能に設けられ、窓部を有してなる扉体と、
前記扉体の背面側に設けられ、前記窓部を介して前記遊技領域を視認可能とする前記後一対の透明体及び該透明体の外周に設けられる保持部材を有してなる透明体ユニットとを具備してなる遊技機において、
前記保持部材は、
前記透明体の全外周にほぼ沿うよう略環状に形成され、かつ、端部を備える保持部本体と、
所定の締結操作が行われることで、前記端部同士を互いに近接させ、前記保持部本体を前記透明体外周に締結固定可能な締結手段とを備えることを特徴とする遊技機。
【請求項２】
少なくとも前記締結手段の締結解除状態にあっては、前記保持部本体内に透明体が収容される程度に前記保持部材が拡径されるよう構成したことを特徴とする請求項１に記載の遊技機。
【請求項３】
前記保持部本体は、前記一対の透明体が所定間隔を隔てて保持されるよう一対の段差部を有しており、少なくとも前記締結手段の締結解除状態にあっては、前記一対の透明体が、前記段差部によって所定間隔を隔てた状態で収容される程度に、前記保持部材が拡径されるよう構成したことを特徴とする請求項１又は２に記載の遊技機。